



中小企業向けリスク啓発セミナーを開催しました

～南海トラフ地震、そして多様化するリスクにどう立ち向かう？～

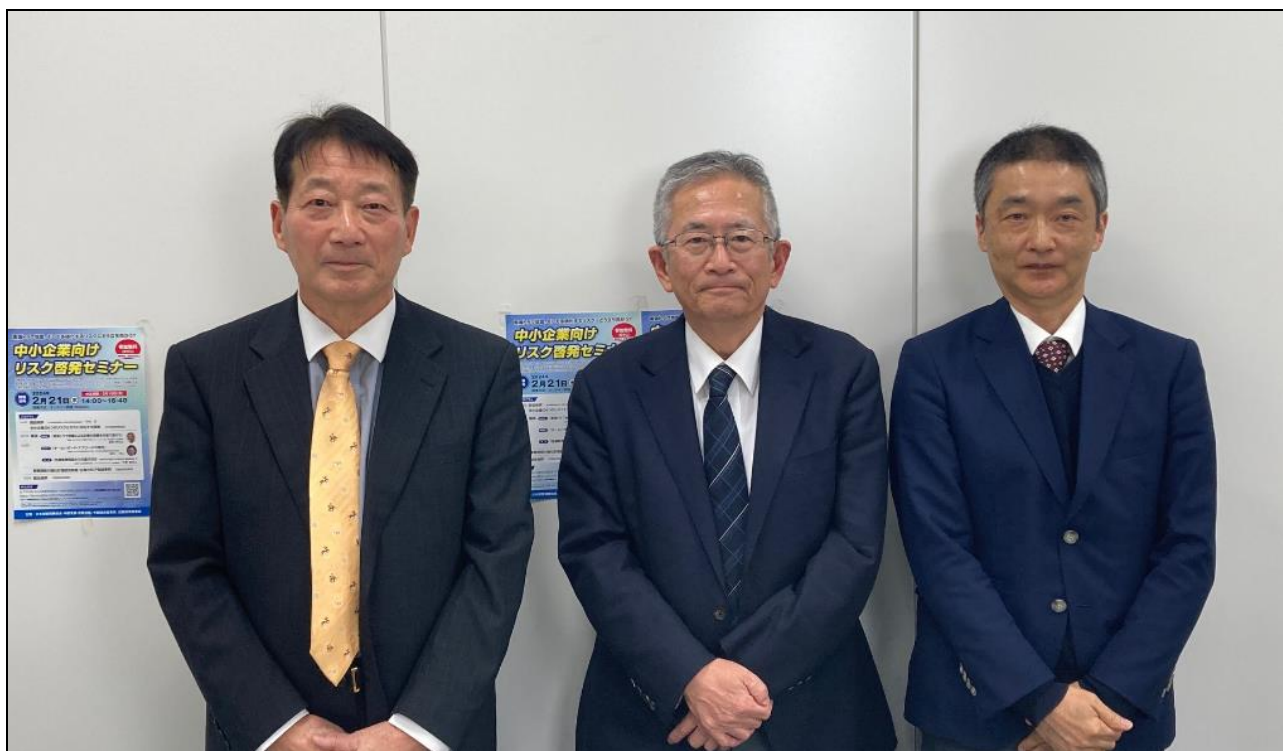
日本損害保険協会中部支部委員会（委員長：松田 謙二郎・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社執行役員）および近畿支部委員会（委員長：中村 哲・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社常務執行役員）では、経済産業省中部経済産業局、経済産業省近畿経済産業局と連携し、2月21日に「中小企業向けリスク啓発セミナー」を完全オンライン形式で開催しました。

当日のプログラムは次のとおりです。

プログラム	
14:00	開会挨拶 日本損害保険協会 近畿支部委員会委員長 中村 哲 中小企業の6つのリスクとそれに対応する保険 日本損害保険協会
14:10	講演 基調講演 1 「南海トラフ地震による企業の危機を本音で語ろう」 〔講師〕 あいち・なごや強靱化共創センター センター長／名古屋大学 名誉教授 福和 伸夫氏 
16:20	基調講演 2 「オールハザード・アプローチの理念」 〔講師〕 日本大学危機管理学部 教授／同大学院危機管理学研究科 教授 福田 充氏 
	講演 「危機管理側面からの震災対応 - 震度7熊本地震からの素形材工場復興事例 -」 〔講師〕 武山鑄造株式会社 テクニカルアドバイザー（技術顧問） 平野 春好氏
	事業継続力強化計画認定制度・企業のBCP取組事例 近畿経済産業局
16:30	閉会挨拶 中部経済産業局

基調講演では、まず、福和伸夫名誉教授から、学校では教えてくれない災害と歴史上の事件との関係や、東京・大阪・名古屋のなりたち、さらには能登半島地震で発生した事象などを説明いただきました。次に、福田教授からは、リスクとクライシスの区別などオールハザード・アプローチの考え方を説明いただきました。最後に平野テクニカルアドバイザーからは、熊本地震での実体験を、ご自身が撮影した画像を使って説明いただきました。

日本損害保険協会からは、自然災害を含めた6つのリスクとそれに対応する損害保険について情報提供しました。



左から平野テクニカルアドバイザー、福和伸夫名誉教授、経済産業省中部経済産業局 大橋中小企業課長

参加者は約 200 名。アンケートに回答いただいた方のうち、9 割以上の方が「参考になった」とのことでした。また、「歴史認識から震災対策へのアプローチしておられる話は非常に興味深かった」、「BCP がハザードリスクだけでなくオールハザード・アプローチが必要」、「実際に製造工場が被災した場合に何が起こるのか具体的に実感できた」など、好評価でした。

1. 本日のセミナーは参考になりましたか？

● とても参考になった	53
● まあまあ参考になった	26
● どちらともいえない	1
● あまり参考にならなかった	0
● 全く参考にならなかった	0

